



創立140周年

令和元年6月28日

# とべだより

7月号

横浜市立戸部小学校

安心・安全のために

学校長 柳澤 潤



真夏日が続いたり、急な大雨に驚かされたりと、5月・6月は天気の変化が激しかったように思います。今、学校現場では、「暑さ」が大きなリスクとして認識されています。横浜市では、昨年の記録的な猛暑を受け、今年度の5月に「横浜市立学校 熱中症対策ガイドライン」【試行版】を策定しました。このガイドラインでは、暑さ指数（WBGT数値）に応じた学校のとるべき対応が示され、全ての学校に、暑さ指数計（WBGT計）が配当されることになりました。

早速、6月13、14、15日に実施した5年生の子浦体験学習にも、携帯しました。海の活動の際に熱中症の心配があれば、ワンプッシュで暑さ指数の測定ができるようになっていきます。実際は、暑すぎることはないベストコンディションで、カッターやカヤックの活動を満喫できました。キャンプファイヤーのときは、雲行きが怪しくなりましたが、みんなの踊りなどで大いに盛り上がり、すべて計画通りにできました。「ぼくたちの成長に乾杯」と、係の子が、振り返りの時にあげた声が、印象的でした。

今後は、水泳学習や校区探検、とべスポなどの行事でも、暑さ指数による判断が必要となってきます。子どもの安心・安全のために、新たな計器を活用していきます。

6月20日には、スクールゾーン対策協議会を開催しました。区役所、土木事務所、警察署、交通安全協会の皆様や、地域の町内会長、防犯部の皆様、幼稚園の園長、PTAなど、多くの皆様に集まっただき、スクールゾーンの安全対策について集中的に討議しました。会場の図書室は、人でいっぱいになりましたが、PTA地区委員の皆様が準備してくださった資料とプレゼンのおかげで、改善要望が的確に伝わり、主に路面標示について、具体的に改善が図られることになりました。卒業生でもある交通安全協会の方からは、「登校班による毎日の集団登校と、地域・保護者の方の見送りが現在でも続いていることは、大きな驚きです」との発言があり、改めて、温かな地域、支え合う地域であることを強く感じました。

子どもの安心・安全のためには、新たな試みと、継続した支えが必要です。「子どもたちのために、戸部小のために」という、温かい戸部のまちだからこそ、子どもたちは安心して、安全に過ごすことができます。

いつも、見守りと応援をありがとうございます。今月もどうぞ、よろしく願います。